

日本語の格助詞の例解

日语格助词例解

主 编 常波涛 常 曼

副主编 (按姓氏笔画为序)

马黎明 司娜娜 项利莉

周 密 常 蕾 修文复

大连理工大学出版社

© 常波涛,常曼 2006

图书在版编目(CIP)数据

日语格助词例解 / 常波涛,常曼主编. — 大连:大连理工大学出版社,2006.3

ISBN 7-5611-3145-3

I. 日… II. ①常… ②常… III. 日语—助词 IV. H364.2

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 019575 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 邮购:0411-84703636 传真:0411-84701466

E-mail: dutp@ dutp. cn URL: http://www. dutp. cn

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:140mm×203mm 印张:13 字数:305千字

印数:1~6000

2006年3月第1版

2006年3月第1次印刷

责任编辑:王佳玉 高颖 责任校对:马文婧 岳晟婷

封面设计:孙宝福

定 价:22.00 元

前 言

日语里格助词的“格”是指体言在句子中所处的地位。换句话说，“格”是资格，是指体言以什么资格来参加句子的构成及同其他词的关系。表示格的助词就是格助词。主要接在体言和相当于体言词的后面，表示与句子的语法关系。

格助词有が、に、を、で、と、より、から、の、へ等九个。体言+格助词可构成主语、连用修饰语和连体修饰语等句子成分。

日语里的格助词是日语语言中较难掌握的语法之一。对于学习日语的同学或从事日语语言工作的同人们来说，如不掌握日语里格助词的使用方法及规律的话，就不能在日语语言中正确地运用格助词，往往对中日双语互译带来麻烦。要掌握日语格助词的使用方法，就要了解格助词本身的语法意义；同时在学习的过程中必须做大量习题来巩固对格助词的理解、掌握和应用。每个格助词的语法意义都是不同的，但在应用的过程中又产生了共同点。所以在学习格助词时，一定留意其微妙的区别才能逐渐掌握使用方法。

本书对格助词的用法做了详细的解释，并配有大量的、通俗易懂的例句来帮助读者对正确理解格助词，而且例句的内容还具有生活的情趣性；本书采用了大量练习题来帮助读者提高在工作中

实际地运用格助词的能力,这些习题都选自日语的有关教材、报刊、文学作品及各类试题中所出现的标准例句,易懂易记。

本书是为读者正确掌握日语格助词而编写的,若能对读者的学习有所帮助,将不胜荣幸。

编者在广州市亚加达外语专修学院的教学过程中,加深了对格助词的理解,并把点滴体会总结成书,提供给读者们参考。由于作者的水平有限,定会有不足和错误,望广大读者指正。

二零零五年八月

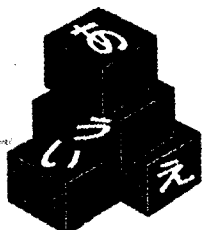
作者写于 广州市亚加达外语专修学院

目 录

一、格助词 が	1
二、格助词 に	33
三、「に」的复合格助词	77
四、格助词 を	180
五、「を」的复合格助词	197
六、格助词 で	224
七、格助词 と	258
八、「と」的复合格助词	268
九、格助词 より	287
十、「より」的复合格助词	297
十一、格助词 から	301
十二、「から」的复合格助词	320
十三、格助词 の	332
十四、「の」的复合格助词	349
十五、格助词 へ	361
十六、「へ」的复合格助词	364
十七、格助词练习题	366
十八、格助词练习题答案	393
参考书目	405



一、格助词 が



○ ^{さくら}桜の^{はな}花^が咲く。
樱花开。

○ みんな^で出かけて、^{わたし}私^{だけ}だけが^{いえ}家にいた。
全都出去了,只我一个人在家。

用法 I

表示主语。包括动作的主体、状态及性质的主体、存在物

- 一九八〇年代の初め、この地球上で、一年間に、千四百万人も五歳未満の子供たちが死んでいました。
 上世纪八十年代初,在这个地球上,每年都有一千四百万未滿五岁的儿童死去。
- 飢え、衛生状態が悪いこと。
 饥饿,卫生状况恶化。
- 一歳や二歳の子供が二十人も一ヶ所において、親から離れ、しかも栄養失調から病気になっているのですから、声を出して泣くのが当たり前です。
 一岁、两岁的幼童竟有二十人之多聚在一处,他们离开父母,并且由于营养失调而导致疾病,所以放声哭泣也是不言而喻的事。
- ある青年が子供の頃を思い出して親類の家の部屋にはふすまがあったと話してくれた。
 有一位年轻人想起了儿时,对我说亲戚家的房子里有隔扇。
- 昔、あるところに東郭先生という大変なお人好しがいました。その東郭先生が、ある日散歩していると、猟師に追われている一匹の狼に出会いました。
 古时候,在某一地方有一个叫东郭先生的老好人。有一天那位东郭先生散步时,碰上了一匹被猎手追捕的狼。

一、格助词 が

- 国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。信号所に汽車が止まった。
穿过边境长长的隧道,便是雪国。夜空下面白雪茫茫。火车在信号所前停了下来。
- 向い側の座席から娘が立ってきて、島村の前のガラス窓を落とした。雪の冷気が流れ込んだ。
一位姑娘从对面座位上站起身来,把岛村座前的玻璃窗打开。一股冷空气袭了进来。
- 子供の群が溝の氷を抱き起こして来ては、道に投げて遊んでいた。脆い砕け飛ぶ際に光るのが面白いのだろう。
一群孩子把沟里的冰块抱了起来之后丢在路上,嬉笑玩耍。冰碰四溅闪烁光亮时,很有趣。
- その反対側の軒陰に芸者が五六人立ち話をしていた。
另一边的屋檐下,有五六个艺姬站着聊天。
- 工場から出る有害物質が海に流され、水産物などを経て人間の口に入り、恐ろしい公害病を起こしました。
从工厂流出的有害物质,流入海里,经过水产品等进入人体,引出可怕的公害疾病。
- 今なお、多くの人々がこれらの病気に苦しんでいる。
现在仍然有很多人因患这些疾病而苦恼着。
- ストーブの火がいまにも消えようとしている。
炉子里的火眼看就要灭了。
- 「触らぬ神に祟りなし」という諺がある。
有句谚语说:一问三不知,神仙怪不得。

○待ち^まに待^まったお正^{しょう}月^{がつ}がや^やってき^きた。

盼望已久的春节到来了。

○や^{でん}つと電^{でん}車^{しゃ}がき^きて、乗^{じょう}客^{きやく}が順^{じゅん}順^{じゅん}に^の乗^のり込^こむ。そのと^のき、脇^{わき}からその列^{れつ}に^わり込^こんで、電^{でん}車^{しゃ}に^の乗^のってしま^しま^まう人^{ひと}がよ^よくある。

电车好不容易来了，乘客们按照顺序上车。这时常有人从旁边加塞上车。

○す^{じごく}ると、その地^じ獄^{ごく}の底^{そこ}に、カンダタという男^{おとこ}が一人^{ひとり}、ほかの罪^{ざい}人^{にん}と一^{いつ}緒^{しょ}に蠢^{うごめ}いている。

于是，在地狱的底层，有个名叫坎大达的男子和其他罪人一起蠕动着。

○お^{めい}びた^{めい}だ^{めい}しい名^な目^{もく}の「祝^{しゅく}賀^が行^{ぎょう}事^じ」、テ^てー^てプ^ぷ・カ^かット^{ット}、ラ^らンク^ク付^つけ^けな^など^どのイ^いベ^べン^んト^とが^が氾^{はん}濫^{らん}して災^{わざ}い^いを^をな^なす。

名目繁多的“节”、剪彩、评比达标等活动泛滥成灾。

○市^し場^{じょう}の需^{じゅ}要^{よう}が^がふ^ふる^るわ^わず、景^{けい}気^き浮^ふ揚^{よう}の推^{すい}進^{しん}力^{りき}が^が弱^{じやく}い。

市场需求不旺，启动难度较大。

①(自然)描写文中所出现的客观事物的主体

○春^{はる}が^が来^きま^ました。青^{あお}い草^{くさ}が^があ^あつ^つち^ちこ^こつ^つち^ちに^に生^なえ^えま^ます。森^{もり}の中^{なか}で、美^{うつく}しい小^こ鳥^{とり}が^が鳴^なき^きま^ます。白^{ちやう}い^{ちやう}蝶^{ちゆう}々^{ちゆう}や黄^{きいろ}色^{いろ}い蝶^{ちゆう}々^{ちゆう}が^が々々^{々々}あ^あか^かぼ^ぼら^らほ^ほな^なう^うえ^えと^とま^まわ^わり^りま^ます。可^{かわい}愛^いい燕^{つばめ}が^が南^{みなみ}から来^きま^ます。焼^やけるよ^ような暑^{あつ}い日^ひが^が毎^{まい}日^{にち}続^{つづ}き^きま^ます。騒^{さわ}が^がしい蟬^{せみ}が^が鳴^なき^きま^ます。小^{ちい}さな三^み毛^けが^が軒^の下^{きした}で昼^{ひる}寝^ねを^をし^しま^ます。地^ち平^{へい}線^{せん}に

一、格助词 が

消え入る長い道路には、人影が一人も見えません。

春天来了。到处长着青草。林中美丽的小鸟在歌唱。白蝴蝶和黄蝴蝶在红色的蔷薇花上飞来飞去。可爱的小燕子从南方回来。下火般的热天每天在延续着。吵闹的知了叫着。小小的花猫在屋檐下睡午觉。消逝在地平线上的道路上，一个人影也看不见。

- 灰色に煙った海原の上に、風が黒雲を吹き寄せる。黒雲と海面の間に黒い稲妻のように海燕が傍若無人に飛びかけている。

在苍茫的大海上，狂风卷集着乌云。在乌云和大海之间，海燕像黑色的闪电在高傲地飞翔。

- この鳴き声の中には、嵐を渴望する心が響いている。

在这叫喊声里——充满着对暴风雨的渴望。

- 底知らぬ深い海の上に、雲の群れが青い炎をあげて、燃え下がっている。

一堆堆的乌云，像青色的火焰，在深不见底的大海上燃烧。

- 海岸の右端には、小さな丘陵が小さな山里を作りながら、海中に突き出ていて、その丘陵の上に、何とかいう神社があった。

海岸右边有一个小小的丘陵形成的海角凸进海里，该丘陵上有一座叫不出名字的神社。

- 春になって、幾台もの遊覧バスが、伊豆の西海岸沿いに砂煙をあげて走った。一人の中年の男が、気分が悪そうに顔をしてそのうちの一台から下車すると、小さな港町

^{やどや} ^{はい}
の宿屋へ入った。

春天来了,几辆观光巴士扬起沙尘,沿着伊豆的西海岸行驶着。一位中年男子表情忧郁地从一辆车上下来,走进一家海滨镇子的小旅馆。

○^こ ^ご ^{たいよう} ^{うみ} ^{うえ} ^{かがや} ^{うみ} ^{おだ} ^な
午後の太陽が海の上に輝き、海は穏やかにならんでいた。

^{みさき} ^{ちっこうこうじ} ^{やま} ^{ちゅうぶく}
岬に築港工事のクレーンがゆるくうごき、山の中腹に
^{さくら} ^{はな} ^{しろ} ^{さき} ^{のこ}
桜の花が白っぽく咲き残っていた。

午后的阳光照耀在海面上,大海风平浪静。海角上建港工地上的吊车缓缓移动。半山坡上还残留些迟谢发白的樱花。

○^{はな} ^{かぜ} ^と ^ち
花びらが風に飛び散る。

花瓣随风飘落。

○^{きり} ^{なが} ^{あめ} ^ふ ^{なつ} ^{よう} ^{かがや} ^{くき} ^ぎ ^の
霧が流れ、雨が降る。夏の陽が輝くと臭い切れのする野

に、^{ほうぼく} ^{うま} ^せ ^{ひか} ^{しゅうう} ^{はげ} ^{らいめい} ^は ^晴 ^{れて} ^ゆ ^く
放牧の馬の背が光る。驟雨、烈しい雷鳴、晴れてゆく
^{ねんば} ^け ^ら ^な ^た ^{あざ} ^に ^じ ^{あざみ} ^{くき} ^の ^{まつむし} ^{そう} ^き
念場ヶ原に立つ鮮やかな虹。薊の茎が伸び、松虫草が咲

くと、^{そら} ^{あお} ^す ^{すき} ^{うす} ^{くも} ^{なが}
空が青く澄んで、隙とあるような薄い雲が流れる。

^{らくよう} ^{しょう} ^{こうかつ} ^{しよく} ^{しら} ^{かば} ^{かがや} ^き ^ほ
落葉松が黄褐色に白樺が輝く黄になる。ススキの穂が
^{しろ} ^{かぜ}
白く風になびく。

^{そら} ^{あつ} ^{はいいろ} ^{くも} ^{おお} ^{ゆき} ^ふ ^{めん} ^{ふか}
空が厚い灰色の雲に覆われ、雪が降ってくる。一面の深

い雪。椈の木が真っ黒に見え、雪の上に点点と鳥や兎の

^{あしあと} ^{こうさ} ^{らくよう} ^{しょう} ^{もり} ^{ときどき} ^{さむ} ^み ^{ふる}
足跡が交叉する。落葉松の森が、時々、寒そうに身震い

して、^{しろ} ^{こな} ^ふ ^{ゆき} ^{ほら} ^お
白い粉を振りまくように雪を払い落とす。

雾缭绕,雨潇潇。夏阳高照,原野上的草丛散发出阵阵热气,马背闪烁发光。骤雨、劈雷,雨后放晴的念场高原上,彩虹高挂,

鲜艳夺目。薊草渐长，山萝卜花开放；晴空如洗，清透薄云浮动，落叶松变得褐黄；白桦闪出金黄，洁白的芒穗随风飘荡。

天空被厚厚的乌云笼罩，雪花飘来，深雪一片。松树黝黑，雪地上，鸟兔的足迹纵横错落；落叶松不时冻得发抖，抖落的白雪就像在地上撒了一层白粉。

- 船に乗って湖を行く。右に雄阿寒の雄姿がおいかぶさるように迫ってくる。左を振り返ると、セピア雄阿寒が聳えている。山の上にはひとすじの煙が立ち上がっている。阿寒富士をはじめ、いくつもの山々が、みな裾を長くひいて、しんと静まりがえっていた。

游艇在湖里行驶，右侧那座巍峨的雄阿寒山大有劈头压顶之势，回头看左侧，只见暗褐色的雄阿寒山巍然屹立，山巅之上，一缕烟云袅袅而上。从阿寒富士向远处延伸着重峦叠嶂的山脚，周围一片宁静。

- 八月も中旬になると、夕立ちが多くなる。青い空に巨大な入り道雲がもくもくと広がり、やがて激しい雷鳴を伴って強い雨が降り出す。

进入八月中旬，傍晚的雷阵雨多了起来，庞大的积云在青空中滚滚扩散，顷刻间，雷雨交加，大雨如注。

- 山に登ろうとすると沼がある。なぎさには去年見たときのように枯れあしが縦横に乱れているが、道端の草には黄ばんだ葉の間にもう青い芽の出たのがある。沼のほとりから右に折れて登ると、そこに岩の隙間から清水の湧く所がある。

山脚下(想要登山的那个地方)有个池塘。枯草横七竖八地散乱在池塘边,和去年看到的一样,不过道边的黄叶子中间,已经出绿芽。从池塘边向右折登山。在那里有个从岩石缝里流出清水的地方。

- 今度の日曜日こんど にちようびは妹いもうとの学校がっこうの運動会うんどうかいである。妹いもうとがゆうがたかえ夕方うんどうかい帰かえってきて、「運動会うんどうかいで竹馬たけうまがい要あしたるから、明日あした、持もっていかんといけんのじゃ」といった。

そこで、妹いもうとと祖母そぼは、大急おおいそぎで、裏山うらやまに竹たけを取りとりに行おこなった。父ちちの帰宅きたくが遅おそいので、母ははが寸法すんぽうを決きめ、慣なれない手てつきで竹たけを切きり、足台あしだいにする木きを探さがしてきた。夕食ゆうしょく後に、父ちちが組くみ立たて、竹たけの節ぶしを削けずって、竹馬たけうまは立派りっぱにできあがった。

本周日,妹妹的学校开运动会。妹妹傍晚回来后说:“运动会需要竹马,明天必须拿去”。

于是妹妹和奶奶急忙去后山取竹。父亲回来晚,所以母亲量好尺寸,用不熟悉的手法把竹劈开并找来做足台的木杆。晚饭后,父亲来组装,削去竹节后,竹马就完好地做成了。

- 阿寒おろしの吹ふきすさよるふ夜よるには、セトナのむせび泣なき声こえに和わして、マニペの悲かなしい葦笛あしづみが、湖みずうみから聞きこえるといわれている。このふたりの心こころが一つひとつとなって、マリモが浮うかび漂ただようようになったという話はなしである。

当阿寒山风刮起的夜晚,传说从湖上能听见塞陶娜悲哀的哭泣声和为之伴奏的马立斐的苇笛声。两个人合归一颗心的时候,马立毛便会漂浮于湖上。

② 定语中的主语

- この頃、東北平原では、好天が続き、春と夏が同時に訪れたように、野の花が咲き乱れ、美しい季節となる。

这时在东北平原上，好天不断，像春夏一起到来一样，是鲜花绚烂盛开的美丽季节。

- 真っ赤に色づいた柿の実が夕日に映えるのは、秋の風物詩の一つのである。

赤红色的柿子在夕阳映照下的样子，可真是一首秋天的风景诗。

- 何か不正なことがあった場合に、それに抗議を申し込むのは、権力でなくて、義務というのである。

在发生什么不正当行为时，对其提出抗议，这不是权利，是义务。

- お腹が痛い、頭が痛い、喉が痛い、体がだるい、熱がある、咳が出る、食欲がない、顔色が悪いなどということは、みな病気の印です。

腹痛、头痛、咽喉痛、全身无力、发烧、咳嗽、没有食欲、气色不好等，都是得病的症状。

- アフリカでは、いろいろな理由から、子供が多いのです。ケニアのある地域で、家族単位の調査をしたら、子供が平均八人というデータが出たということを知りました。

在非洲，很多原因导致了子女多。在肯尼亚的一个地区，当我们以家庭为单位进行调查时，得知了平均每家八个子女的这一数据。

- 前進途中には、なお少なからぬ困難と問題が存在している

ることを冷静に見て取っている。

清醒地看到,前进途中还存在不少困难和问题。

- 中国残留日本人孤児というのは、第二次世界大戦が終わったとき、現在の中国東北部などから日本に引き揚げてくる途中、日本人のお母さんやお父さんたちが、いろいろ理由から、中国に残してきた子供たちです。

所谓留在中国的日本孤儿,就是第二次世界大战结束时,从现在的中国东北等地区撤退日本的途中,日本的母亲、父亲们由于种种原因留在中国的孩子们。

- 明が滅亡して、清が北京に入った年に、日本人がここへ連れてこられています。無名の越前の商人です。

明朝灭亡之后,清朝进入北京那一年,日本人被带到这里。这就是无名的越前商人。

- 一九三七年七月七日、この蘆溝橋で爆発した局地的侵略銃声が中日戦争に広がったことは、新しい現代史の重要な一ページです。

1937年7月7日,在这座芦沟桥打响的局部侵略的枪声导致成中日战争,成为现代历史上重要的一页。

- 私たちが接した日本人の中には、親の代から子供の代へと、日中友好事業に携わってきた方も少なくありませんでした。

在我们接触的日本朋友中间,也有不少从父辈到儿辈一直献身于日中友好事业的人。

- 植物は、人間や動物が必要とする酸素を作り出し、人間

一、格助词 が

や動物は、植物が必要とする二酸化炭素を吐き出します。植物製造出人类和动物所需要的氧气，而人类和动物又排出植物所需要的二氧化碳。

- 雲が出て、陰になる山やまた日光をうけている山が重なり合い、その陰日向がまた刻々に変わっていくのは、薄寒い眺めであった。

云雾缭绕，背阴的山峦和阳光照射的朝阳的山峦重叠在一起，这向阳和背阳不断变化着的，恰是满目苍凉的景色。

- われわれがこれから述べる戦略問題は、中国革命戦争の十年にわたる血戦史の経験にてらして、これらの問題を十分に説明するものである。

我们现在要讲的战略问题，就是要参照中国革命战争的十年血战史的经验，充分地说明这些问题。

- 科学的な方法が確立されない時代には、自然現象は神秘的なものと考えられています。

在科学方法还没有确立的时代，人们都认为自然现象是神秘的。

- 少年が帽子のひさしを引き下げたのも、私の脇にぴたり寄り添って立つのも有名な雷おやじの癖を知っていて、立ち読みをやましく思っているからに違いない。

少年之所以把帽檐拉下来，紧紧地贴在我旁边站着，我想一定是因为他知道这位出名严厉的老头的脾气，并且觉得站在那里看书很难为情吧。

- 知恩院の桜が入相の鐘に散る春の夕に、これまで類のない、珍しい罪人が高瀬舟に乘せられた。

日语格助词例解

一个春天的傍晚，知恩院的樱花在深沉的晚钟声中纷纷飘落。
一个古今少有的特殊犯人被带上了高瀬舟。

- ××の損害について、当社が調査した結果、この程の損害は単独海損に属するものであるため、当社としては、貴社の出された賠償要求を拒絶せざるを得ません。

敝公司调查结果表明，××的损失属于单独海损，所以敝公司不能不拒绝贵社提出的索赔。

- 友人の病気がよくなることを祈ってやまない。
衷心祝愿友人早日康复。

- 山の裾野が遮るものもなく、左右に広々と延びて、河岸へ届こうとするところに、水力電気らしい建築が真っ白に立っていた。

山脚下的原野，一望无垠，远远地向左右伸展，快到河边的地方，耸立着一座好像小水电站的白色建筑。

- 紅葉の錆色が日ごとに暗くなっていた遠い山は初雪で鮮やかに生き返った。

这场初雪，使得枫叶的红褐色渐渐淡去，远方的峰峦又变得鲜明起来。

- この国では木の葉が落ちて、風が冷たくなるごろ、寒いと曇り日が続く。遠近の高い山が白くなる。

在这北国，当树叶飘落，寒风萧瑟的时节，天空总是阴沉沉的，远近的高山都变成了一片茫茫的白色。